



おさかな瓦版

No. 36

2010.8

さんりく だいかい
シリーズ：三陸のさかなたち 第3回

サンマ



ふーちゃんのトピックス

オニオコゼをそだてて、はな放しています



ふっくんのなんでもコーナー

タコはどうやってからだの色をいろ変えるの？

サンマ

やす えいよう こくみん みかた
～安くておいしくて栄養たっぷり！ 国民の味方です～



📷 1. サンマの大型魚(1歳)

サンマ(📷1)は、日本海からオホーツク海、北太平洋と、とても広い範囲にすんでいる魚です(📷)。海の表面の水温が8～20℃で、海面から20メートルまでの浅いところにいます。大きさは体長32～35センチになります。夏の終わりと秋にかけて北海道や東北地方の太平洋側を南に向かって大群で移動しているときに「ぼう受けあみ漁(📷 あんじいのワンポイントアドバイス)」で大量に水あげされます(📷2)。この時期のサンマは脂がのってとてもおいしいです。塩焼き(📷3)をは

じめ、さしみや干物でもおいしい魚です。

水産総合研究センターは、2003年から日本の東側の太平洋に

いるサンマの量を調べています。その量は、年によって差がありますが、350～800万トンです。2009年に日本でとられたすべての魚の量が415万トンですから、サンマ



📷 2. 大量に水あげされたサンマ



あんじいのワンポイントアドバイス

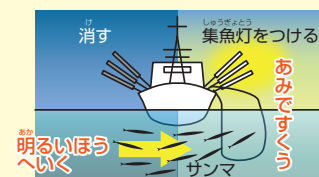
ぼう受けあみ漁

ぼう受けあみ漁は、サンマが光に集まる習性を利用し、夜行うんじゃ。集魚灯をつけて船の近くにサンマを集め、すくいとる漁なんじゃ。最近、省エネルギーのためLED(発光ダイオード)の電球も使っているんじゃ。

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です



集魚灯をつけるとサンマが光りに寄ってくる。この間、船の反対側の集魚灯は消しておく。



サンマが集まったら集魚灯を消して、反対側の集魚灯をつける。すると、サンマはあみのある明るいほうに行くので、これをあみですくう。

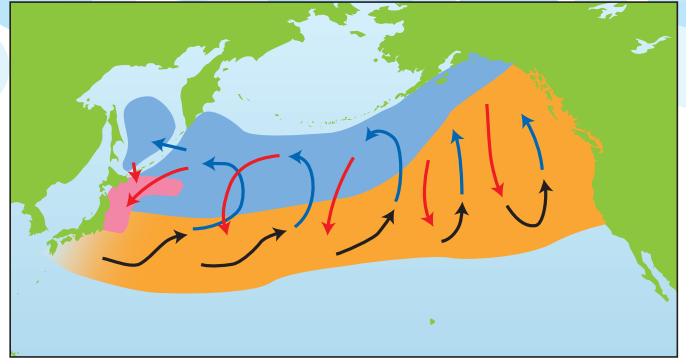


📷 3. サンマの塩焼きしおや

がいかに日本のまわりにたくさんいる魚かわかるでしょう。

サンマの寿命は、水産総合研究センターの研究により、2年であることがわかりました。おもに冬、浮遊している海藻などに卵を産みつけます。卵は2週間ほどでふ化して急速に成長し、1年で29センチくらいになります (🔍 チェック)。

冬には右上の図のオレンジ色の海域にいて、盛んに産卵します。生まれたサンマは春から北に向かい、夏にはアラスカやアリユシャン列島付近まで北上します (🗺️)。この旅の途中でエサの動物プランクトンをたくさん食べて成長し、脂肪を体内に蓄えます。そのため、夏の終わりごろのサンマは脂がのってとてもおいしくなります。最近、輸送の技術が発達したため、この時期に北海道などでとれたサンマを、九州でも



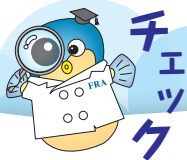
- 夏から秋・冬
- 冬から春
- 春から夏
- 夏にエサを食べるところ
- 冬に生まれて大きくなる場所
- おいしいサンマがとれる場所

🗺️. サンマがすんでいるところと漁をするところ

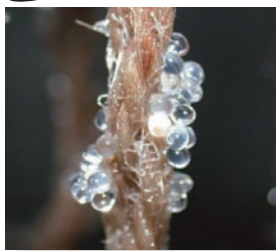
さしみて食べられるようになりました。

秋から冬にかけて南に移動するにつれて脂がへり、11月ごろには少しさっぱりした味になります。脂が少なくなったサンマは、干物などに向いています。

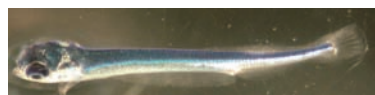
サンマは日本の漁船のほかに外国の漁船も大量に漁獲しています。太平洋にたくさんいるサンマですが、数限りなくいるわけではありません。水産総合研究センターは、外国の研究者とも情報交換をして、サンマをとりつくさないように利用していく研究をしています。 (上野 康弘)



サンマが卵から育つまで



サンマの卵 (約1ミリ)
海そうなどにくっついて
います



ふ化後4日目 (体長約7ミリ)



ふ化後50日目 (体長約75センチ)



ふ化後240日目
(体長約25センチ)
産卵をはじめました



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

オニオコゼを育てて、 はな 放しています

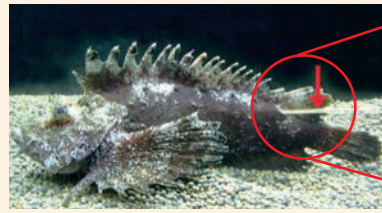
水産総合研究センターではオニオコゼ（オコゼ）を増やすために、子どもを育てて、瀬戸内海などへ放す試験をしています。オコゼはこわい顔をしていますが、とてもおいしい魚です。背中のはれのとげには毒があり、さされたら痛いうえに大変危険です。

赤ちゃんのころから、オコゼの持ちようである大きな胸びれを持っています。子どものころの胸びれは、おなか側がオレンジ色できれいです。からだに目印のチューブを付



オコゼの赤ちゃん（全長1.2センチ）

けて海へ放し、どこに行くのか、どのくらい大きくなるのかなどを調べています。



海へ放すオコゼ（全長17センチ）
矢印：目印のチューブ



目印のチューブ部分の拡大

東京都の小学6年生からの質問です

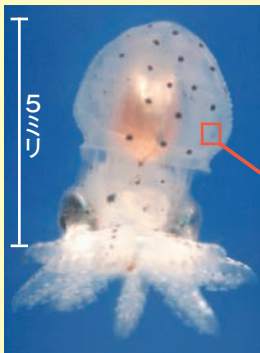
ふっくんの なんでもコーナー

どんどん質問してね。
ぼくが答えるよ！



Q タコはどうやってからだの色を変えるの？

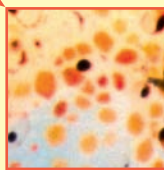
A



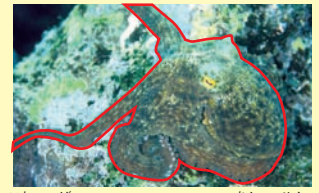
左：マダコの赤ちゃん

産まれて20日目、大きさは8ミリ

右：いろいろな色の細ぼう（拡大）



タコには黄、赤、茶、黒などの色をした小さな細ぼうがからだじゅうにたくさんあるんだ。この細ぼうを大きくしたり、小さくしたりしてからだの色を変えるんだ。これは、赤ちゃんのときからあるんだよ。大きくなって海底にすむようになると、敵に見つからないように岩とそっくりの色になるんだよ。



岩に化けているマダコ（赤い線）



指でさわったら、おこって真っ赤になりました



ふーちゃん



ふっくん

：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.36 (2010年8月発行)

編集・発行：独立行政法人 水産総合研究センター

質問の送り先・お問い合わせ先：広報室

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3

クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ホームページ <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報室までハガキを送ってね。＜聞きたいことの内容＞、＜学年＞、＜住所＞、＜名前＞を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



みなとみず港に水あげされたサンマ